

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究」

平成 28 年度平田班分科会 I 研究会議 議事録

<議事次第>

日 時：平成 28 年 8 月 29 日（月）17:00－19:00

会 場：オフィス東京 2 階 L2 会議室

東京都中央区京橋 1-6-8 コルマ京橋ビル

出席者： 50 音順

研究代表者 平田公一

研究分担者 今村将史 後藤満一 今野弘之 柴田亜希子 西山正彦 古川俊治

研究協力者 神谷欣志（今野弘之） 高橋 新（宮田裕章） 水島恒和（森 正樹）

欠席者：

研究分担者 杉原健一 袴田健一 福井次矢 藤原俊義 宮田裕章 森 正樹

会 議 次 第

17:00～17:05	1. 研究代表者挨拶	平田 公一
17:05～18:55	2. 「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD 長期予後入力システムの構築に関する研究（平田班）」のアンケートの検討 (1) 「序文」 (2) 「Ⅰ. がん診療ガイドラインと現状での医療内容評価と臨床研究について」 (3) 「Ⅱ. 「がん診療ガイドライン」の国家的レベルでの横断的連絡体制の将来について」 (4) 「Ⅲ. 患者さん、ご家族向けの診療ガイドライン説明書について」 (5) 「Ⅳ. Conflict of Interest (COI) について」 (6) 「Ⅴ. 国際的に通用しうる専門的分析の可能ながん登録を目指して」	
18:55～19:00	3. その他	

<議事録>

1. 研究代表者挨拶と検討趣意の確認

多忙な日常業務の中で参会頂いたことに謝辞を述べると共に、今回の平成28年度分科会I研究会議の資料ならびに進行方法についての説明がなされた。

分科会Iの検討事項については、実態調査の必要な時期を迎えているので、全ての検討項目についてアンケートによる概要把握を行なうことを確認し、本日は責任者アンケート(案)をご検討頂きたいとの趣旨が述べられた。

2. 「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究(平田班)」アンケート案(当日配布資料)の検討

(1) 「序文」

文言内容に問題点はない。多くの組織から回答を頂けるような工夫を研究代表者に一任する。アンケートに注目される研究者もおられると推察され、慎重に進めることが大切である。研究代表者は必要性に応じた工夫・努力を払うことが確認された。

(2) 「I. がん診療ガイドラインと現状での医療内容評価と臨床研究について」

- ① 診療ガイドラインの普及度に関する問い合わせは、知る限り多くの組織で行っていると考えられ、是非、設定すべきであることから、提示された設問は実施すべきであるとの事で確認された。
- ② 医療内容の評価に関する困難性とその具体的な解決法については、研究経験のある組織でなくては理解できない内容と考える。設定されている回答肢の内容は良いが、これとは別に記載頂く欄を設定すべきではないかとの意見があった。後日、改めての設問をアンケート案に盛り込むこととした。

(3) 「II. 「がん診療ガイドライン」の国家的レベルでの横断的連絡体制の将来について」

- ① 回答肢における組織名の記載については、整理が必要との事で、詳細な確認討論によって整理を行った。
- ② 運営資金に関する表現に於いて、研究費、委託費、寄付金等の用語の用い方について整理がなされた。

(4) 「III. 患者さん、ご家族向けの診療ガイドライン説明書について」

- ① 日本癌治療学会では、ESMOとの共同事業としてESMOの該当文書の翻訳を出版しており、各組織にその存在を併せてお知らせし、その事業の重要性を認識して頂く事が重要ではないか、との提案があった。また、実施している組織は少なく、いくつかの学会と共に紹介を行うこととした。

(5) 「IV. Conflict of Interest(COI)について」

- ① 診療ガイドライン委員会等の委員についてCOI内容を条件としているか否かを問うべきであるとの意見があった。

(6) 「V. 国際的に通用しうる専門的分析の可能ながん登録を目指して」

- ① 設問の配列について工夫が必要であるとの指摘の下、具体的な配列変更を試みた。(更に、会議終了後には、詳細な文面にて配列変更の理由に加え適切なコメントを頂いた)
- ② 登録データの取扱い表現に於いて、時期の設定が提案されていたが、現時点では検討の必要な事項にもなりうるため今回は条件設定に用いないこととした。
- ③ 臓器がん登録に関するアンケートとして位置付けられる内容なので、そのことに徹底した設問分にすべきとの事で表現を整理した。

3. その他

- ① アンケート依頼時には、研究班の簡単な紹介と班員の紹介を添付する。
- ② アンケートは10月には実施する。
- ③ 財務的課題について問うべきとの提案を採用し、研究責任者にその表現については一任する。
- ④ 各種の用語表現の整合性、正確性に関する指摘の下、改正した。
- ⑤ アンケートの結果は、分科会Iのメンバーを著者とし、協力学会等(回答者氏名を含む)を謝辞として記載することとした。筆頭著者については研究責任者が決定することで了解を得た。

- ⑥ 更にご意見を寄せて頂ける場合には、会議終了後一週間以内に研究代表者にメール送信することで了解された。
- ⑦ 日程調整上、欠席とならざるを得なかった研究者には完成版を議事録と共に報告する。
- ⑧ アンケート送付先リスト案(添付資料1)に基づいてその適性と追加の有無を検討した。
- ⑨ 以上に基づいて研究責任者は修正・加筆後にアンケート最終案(添付資料2：9月14日仕上がり)として、出席研究者にメールにて確認を取ることとする。

以上の討論をもって会議が終了し、研究代表者からご出席者の先生方に会議へのご参加について謝辞が述べられ閉会となった。

(初回文責：平田公一<研究代表者>)